

通行に向けた工事

西大手門・二の丸御門跡では、崩落した石垣の石材を回収しています。崩れた石垣の落ちた石は元の場所に戻し、元の姿に復旧します。石材のうち石垣の表面に積まれていた大きな石材は、番号を付けて回収し、元にあった場所を特定する作業を進めています。

西大手門 周辺



石材回収前の状況



石材回収作業



石材回収作業完了（一部）

二の丸御門跡



石垣崩落状況



石材に1個ずつ番号を付けて回収



石材回収作業完了



崩落石垣の安全工事

復旧に向けた工事

あかずのもの 不開門



石材回収前の状況



石材回収作業



グリ石回収作業

7月から不開門周辺の石材回収を開始し、崩落した石材の照合作業も同時に行っています。石材とともに崩落した石垣の背面のグリ石に混じって瓦や石塔の一部なども出土しています。

『復興熊本城 vol.1 被害状況編』書店にて発売中です!

平成28年(2016)の熊本地震によって甚大な被害を受けた熊本城の記録集を、20年かけて定期的に発行します。vol.1では地震による建物や石垣の被害状況、平成29年度上半期までの復旧工事の様子、調査研究の成果などを収録しました。熊本県内の書店などで発売しています。

vol.2は平成30年(2018)12月刊行予定です。



熊本博物館がリニューアルオープンします!

平成30年(2018)12月1日13時に熊本博物館がリニューアルオープンします! 熊本の自然や歴史について学べ、プラネタリウムも併設しています。

熊本市中央区古京町3-2
096-324-3500
開館時間など詳細はホームページまで



細川忠興甲冑レプリカ

熊本城ミュージアム わくわく座

わくわく座では、熊本城の歴史にまつわる体験学習ができ、熊本城の復旧に関する展示も行っています。



定点ライブカメラ

発掘調査成果の展示(2階)

熊本市中央区二の丸1-1-1
【営業時間】9:00~17:30(入館は17:00まで)
【入館料】大人300円 子ども100円
【アクセス】JR熊本駅から市電熊本駅前乗車~熊本城・市役所前電停下車~徒歩7分
【電話】096-288-5600
<http://www.sakuranobaba-johsaien.jp/>



熊本城

~復興におきて~

平成30年度
秋冬号





H30.9.5 天守閣工事 東より



H30.8.29 天守閣工事 西より



大天守台石垣の石積み状況



大天守台石垣穴蔵石積み作業



交換石材作成の様子



交換石材作成作業（石材細部の加工）



石材を加工する道具の一部



破損石材補修作業（破片の接合）

天守台石垣の復旧工事では、大天守台の石垣積み直し作業に取り掛かりました。また、積み直しに伴って解体した石材の補修や新しく交換する石材の作成も行っています。

天守閣



H30.9.11 飯田丸五階櫓台全景



五階櫓最後の部材搬出



飯田丸五階櫓礎石等も回収



五階櫓本体は部材ごとに選別して保管

飯田丸五階櫓 建物解体
平成29年12月から五階櫓本体の解体を実施し、平成30年6月に終了しました。回収した部材は城内の倉庫に保管しています。

飯田丸五階櫓

建物解体



一本石垣解体



石垣解体前の基準線書き



解体石材の番号付け

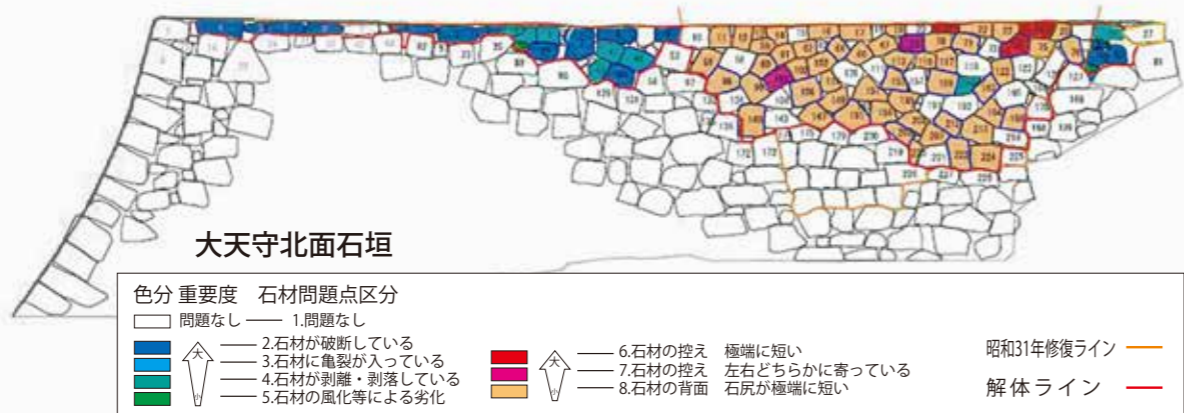


グリ石検出作業

石垣は、石材の測量と番号付けを行い、一石ごとに解体していきます。まず「一本石垣」といわれた隅石から解体を行い、石垣解体復旧を進めています。

石垣解体

石垣石材 観察図



熊本地震における熊本城の被災状況

熊本城全体の石垣：973面、約79,000㎡
特別史跡熊本城跡の土地面積：約512,000㎡

平成28年4月16日 1時25分「本震 M7.3」

※前震での被害を含む

種類	被害数量	内容
重要文化財建造物	13棟	倒壊2棟、一部倒壊3棟。他は屋根・壁破損など
復元建造物	20棟	倒壊5棟。他は下部石垣崩壊、屋根・壁破損など
石垣	崩落・膨らみ・緩み 517面 (うち崩落50箇所、229面)	約23,600㎡ (全体の29.9%) (うち崩落約8,200㎡ (全体の10.3%))
地盤	陥没・地割れ70箇所	約12,345㎡
便益施設・管理施設	26棟	屋根・壁破損など

